

平成 31 年度 くすの樹会法人本部 事業計画

理 念

私たちは、社会に資する者として、常に考え続け、行動し続ける努力をします。

基本方針

私たちは、私たちが営む施設が社会資源の一つとして地域に開かれ、地域に暮らす人に愛され、自ら育ち、また育てられることを目指します。

実施事業

第 2 種社会福祉事業

保育所の経営

一時預かり事業の経営

背 景

法人組織・経営・施設運営について

平成 31 年度は、福岡県飯塚市において、あじさい保育園（認可保育所定員 160 名）、鯉田保育園（認可保育所定員 120 名）、横浜市戸塚区において銀杏保育園（認可保育所定員 60 名）及びその分園たる銀杏保育園胡桃館（認可保育所定員 44 名）の施設運営を行う。

また、あじさい保育園に関しては、幼保連携型認定子ども園へ平成 31 年 10 月を目途に移行を目指して準備を行っている。平成 31 年 10 月から、保育の無償かがスタートするため、現時点で不確定な給食実費徴収等の動向や、それに伴う各行政での対応について、特に注視が必要である。

平成 29 年 11 月より、いずみ福祉会からの委託を受けて運営を開始した企業主導型保育事業「花梨保育園」については、平成 30 年度末をもって双方合意の上委託契約を解除し、当法人所属の職員についても、準備期間を設けて、現場の引継ぎを完了し、引き上げた。

これまで、くすの樹会主導で花梨保育園の現場を進めていたが、先方はこれからも当法人が進めた保育方式を維持したいとのことで、今後も継続して保育内容についての相談援助を行う。

鯉田保育園の園舎が築年数を重ね、老朽化が進んできている為、改修については、建て替えも見据えて計画の策定に入る。

法人の運営について、平成 32 年 3 月末をもって評議員緒定数における緩和措置が終了するため、本年度中に評議員を定数の 7 名とする必要がある。

人材確保・職員の処遇について

人材の確保について、横浜地区では保育士の確保が急務であったため、通常の採用活動と並行して、資金面は考慮せず、就職面接会への出展や、求人広告媒体への求人掲載、紹介会社からの紹介者雇用と、派遣職員の受け入れを多く行った。これについては、資金的に負担が大きく、本来であれば、当法人で働いている直接雇用の職員の処遇に充てたいものであるため、本年度については、状況を見ながらではあるが、人材確保について模索していく。

飯塚地区については、前年度末の退職者は 1 名で、新卒、既卒を含めた新規正規雇用が複数名あるが、年度途中からの産休・育休取得予定者が複数いるため、これまでほとんど行

ってこなかった産休代替え雇用等も視野に入れながら、続けて採用の取組を行っていく。

様々な働き方に対応しながら配置基準を満たす方法について、ワークシェアリング等の導入も視野に入れた労働条件の選択肢の広がりを模索する。

以前から取り組んでいる職員のキャリアパスと給与体系の連動について、本年度冬期より、新たな人事考課基準を試験的に用いる。

公益的な取組について

例年に引き続き、飯塚地区あじさい保育園およびつどいの広場飯塚での「ほっとルーム」を実施する。また、地域連絡協議会への参加と福岡ライフレスキューへの参画も継続して行う。銀杏保育園胡桃館の支援室での活動については、まずは保育の安定が優先されるため、長期的な取組として、外部に開いてイベントなどを設けるよりも、まずは専門職として相談支援事業を行える職員の育成に注力する。

法人全体の取組重点項目

- ① 人材確保と育成
- ② 多様な働き方の実現に向けた制度の見直し
- ③ キャリアパス、育成、評価を含めた人材育成システムの構築

法人本部事務局

本年度4月新規採用は行わず、現行2名の体制でスタートする。前年度事務の職務分析を開始したが、完結していない為、本年度完了させる。銀杏保育園に1名在籍する施設事務職員への施設事務業務の移行は進んできている。本年度中には難しいとは思いますが、事務員が一人で施設事務をこなせるように職務の受け渡しを進めていく。

また、あじさい保育園が年度の途中で幼保連携型認定子ども園になった場合は、事務員が必置となるため、新たに事務員を雇用したい。

平成 31 年度 あじさい保育園事業計画

保育理念

私たちは、私たちがかわる子どもたちが成長し社会の役に立つ人になることを願って、日々の保育に専念します。

保育方針 「明るく素直な心・強い心を育てる」

保育目標

- * 自分を大切にし、他の人にも大切にする子に育てます。
- * 自ら考え、選びとる目を持ち工夫することができ、多くの困難に出会っても乗り越えられる子に育てます。
- * 優しさや、思いやりの心を素直に表現することができる強い心をもった子に育てます。
- * しなやかでのびのびした心と体をもつ、人として豊かになる子に育てます。

以上の子どもたちを育てる為に職員は福祉施設で働く職員としての意識を高く持ち、それぞれの専門性を発揮しながら自己研鑽を日々忘れることなく、保育に励みます。

1. 実施事業

① あじさい保育園保育事業

- ・乳児保育（産後休暇明けからの受け入れ）
- ・延長保育（18:00～19:00）：有料
- ・休日保育（原則 8:30～16:30）：無料
園児以外の児童の市内・市外受け入れ：有料
- ・地域活動（二瀬地区事業参加[クリーン作戦]・共同募金街頭募金活動）
- ・世代間交流事業（いずみ福祉軽費老人ホーム・デイサービス・いずみのもり）
- ・子育て支援事業：毎週2回本園開放・毎週2回鯉田つどいの広場いづかへ出前保育、飯塚市すくすくサークル担当

② 一時預かり事業（原則 8:30～16:30）：有料

（8:30 以前・16:30 以降は 30 分 200 円に対応）

2. 年度期間 平成 31 年 4 月 1 日から、平成 32 年 3 月 31 日まで

3. 入所児童数 平成 31 年 4 月 1 日現在 160 名入所（160 名定員）

4. 開所時間 午前 7 時～午後 7 時
 (18 時以降 19 時までは延長保育で有料)

5. 保育時間 午前 9 時～午後 5 時（8 時間）

6. 職員体制 44 名

- ・ 施設長 1 名
- ・ 主任保育士 1 名
- ・ 保育士 30 名 （常勤 17 名 短時間 13 名）
- ・ 調理員 8 名 （常勤 7 名 短時間 1 名）
- ・ 看護師 2 名 （短時間 2 名）
- ・ 事務員 1 名 （本部事務局）
- ・ 保育補助 1 名 （短時間 1 名）
- ・ 嘱託医師 こどもクリニックもりた森田院長
- ・ 嘱託歯科医師 首藤歯科医院院長
- ・ 非常勤講師 ジャクパ体操教室講師 （体育指導）
濱崎けい子 （読み聞かせ）
大屋省子 （わらべうた）
藤野芳乃 （剣舞）
植田晃太郎（和太鼓）

7. 今年度の取り組み

今年度は中堅職員の出産が 5 名と多い為、保育力の低下を招かないように特に未満児クラスは育児マニュアルを活用し、安定した保育を提供できるように園内研修等を行い、日々職員の意識を保てるように進めていく。
以上児クラスでは、個々から集団へと変わっていく時期に生活習慣の確立、異年齢の小集団での活動を取り組むことで、5 歳児への憧れや小さいお友達のお世話などいろんな経験をさせながら、保育を進めていけるように職員の連携を密にしていく。

新規や中途採用の職員、常勤や短時間勤務の職員、職種の違う職員を、この保育を進めていく上で、皆同じ気持ちでやっていくためには、保育理念を理解し、保育計画等を見直し、研鑽することに力を入れていく。

職員が継続して働けるように、時間の使い方を考えさせたり、グループに分かれ、討議したりして働きやすい環境を整えていく。

認定子ども園への移行期間として計画的に準備を始めていく。

次回の第三者評価を視野に入れながら、計画的に業務の見直し保護者との連携など、主任を中心に「共に育つ」を実現していきたい。

地域の方に保育所としての機能を地域に伝える方法を考え行動していく。

8. 中長期計画

・長期計画

くすの樹会の法人理念を基に「あじさい保育園保育目標」を継承していくため、第三者評価の受審や人材確保を基本方針として計画的に行なう。

職員のやる気を起こし活気ある職場雰囲気を作っていく。

保育所機能を利用し、地域のニーズにも答えていけるシステムを構築する。

・中期計画

くすの樹会の法人理念を基に、保育目標を達成するために第三者評価での評価を検証しながら、育児マニュアルの見直しを行い、保育内容を深め職員の保育力を定着させていく。

人材確保をするために職員が働きやすく、時間内にパソコンなどを利用し計画的に職務を遂行できる環境を整えていく。

地域の方に保育所としての機能を理解してもらう取組を行い備えていく。

平成 31 年度研修計画書

あじさい保育園 (H31.4.1-H32.3.31)

日付	園内研修				食育研修				県内				県外			
	研修名	参加人数 (人)	支出額(円) (講師料)	研修名	参加人数 (人)	支出額(円)		研修名	参加人数 (人)	支出額(円)		研修名	参加人数 (人)	支出額(円)		
						参加費	旅費			参加費	旅費			参加費	旅費	
4月	わらべうた 和太鼓	保育士全員 10	20,000 27,000													
5月	読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 10	40,000 27,000					主任保育士特別講座	1					120,000		
6月	育児担当制研修 わらべうた 和太鼓	保育士全員 保育士全員 10	60,000 20,000 27,000													
7月	読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 保育士全員	40,000 27,000	平成29年度食中毒予防講習会	1											
8月	わらべうた 和太鼓	保育士全員 10	20,000 27,000													
9月	育児担当制研修 読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 保育士全員 10	60,000 40,000 27,000													
10月	わらべうた 和太鼓	保育士全員 10	20,000 27,000					部落解放研修会	2							
11月	読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 10	40,000 27,000													
12月	わらべうた 和太鼓	保育士全員 10	20,000 27,000													
1月	読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 10	40,000 27,000													
2月	育児担当制研修 わらべうた 和太鼓	保育士全員 保育士全員 10	60,000 20,000 27,000									子育てセミナー—実践交流セミナー	1	3,000	100,000	
3月	読み聞かせ 和太鼓	保育士全員 10	40,000 27,000													
小計			864,000			0	0			0	0			123,000	100,000	
合計															1,087,000	

1,087,000

平成31年度 あじさい保育園年間行事予定表(案)

日付	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	月	入園式	水	即位の日	土		月		木		日		火	山① ぶどう	金		日		水	元 旦	土		日	
2	火		木	国民の休日	日	運動会	火	金	金		月		水		土		月		木		日		月	
3	水		金	憲法記念日	月		水	土	土		火		木		日	文化の日	火		金		月	豆まき	火	
4	木		土	みどりの日	火		木	日	日		水		金		月	振替休日	水		土		火		水	
5	金		日	こどもの日	水		金	月	月		木		土		火		木		日		水		木	
6	土	保護者総会 保護者懇談会	月	振替休日	木		土	つどいの祭り	火		金		日		水		金		月		土		金	
7	日		火		金		日		水		土		月		木		土		水		日		日	
8	月		水		土		月		木		日		火	山② ぶどう	金		日		木		土		月	
9	火		木		日		火		金		月		水		土		月		金		日		火	
10	水		金		火		水		土		日		木		日		火		土		月		水	
11	木		土		水		木		日	山の日		水		金		月	水		日		火		木	
12	金		日		木		金		月	振替休日		木		土		火		木		土		水		金
13	土		月		金		土		火			金		日		水		金	成人の日				土	
14	日		火		土		日		水		土	タペのつどい	月		木		土		火				日	
15	月		水		日		月	海の日	木		日		火		金		日		水				月	
16	火		木		月		火		金		土	敬老の日	水	山③ ぶどう	土		月		木				日	
17	水		金		火		水		土		日		木		日		火		金				月	
18	木	歯科検診	土	親子遠足	月		木		日		火		金		月		水		土				日	
19	金		日		水		金	お泊まり保育	月		木		土		火		木		日				火	
20	土		月		木		土		火		金		日		水		金		月				水	
21	日		火		金		日		水		土		月		木		土		火				木	
22	月		水		土		月		木		日		火		金		日		水				金	
23	火		木		日		火		金		月	秋分の日	水		土		月		木				土	
24	水		金		月		水		土		火		木		日		火		金				日	
25	木																							

平成 31 年度 鯉田保育園事業計画

1. 方針

- ①くすの樹会の基本方針に基づき「明るく素直な心・強い心」をもつ子どもたちに育てるように職員は保育に専心していく。
- ②「ひとり、ひとりを大切にした保育」を保護者と連携をとりながら、進めていく。
- ③保護者のニーズに応えながらも、子どもの最善の利益を保障(優先)する保育を行う。
- ④世代間交流(ふれあい交流会)を中心に、地域との交流を図っていく。
- ⑤園内・園外の研修計画を作成し、キャリアパスを考えながら、個々の職員の資質の向上を図るとともに、リーダー職員の育成を図る。
- ⑥職員全員が同じ方向性で保育を進めることができるよう、保育理念や目標、育児マニュアルなどの理解、実践を深めていく。
- ⑦子どもたちが、より自主的・積極的に活動できる環境作りのためにも、個々の職員のリスクに対する意識を高め、情報の共有を図る場を作っていく。
- ⑨認定こども園への移行を見据えながら、保育を進めていく。

2. 実施事業

①保育事業

- ・乳児保育(産後休暇明けからの受け入れ)
- ・延長保育(午後 6 時から午後 7 時まで:有料)
- ・休日保育(原則 午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分:無料)
あじさい保育園で合同で行う
- ・世代間交流事業(地域とのお年寄りとの交流会)
- ・子育て支援事業:毎週 2 回あじさい保育園での園開放・毎週 2 回つどいの広場いづかへ出前保育・飯塚市すくすくサークル担当)
- ・地域活動(地域の文化祭、サークル発表会・つどいの広場誕生まつり参加)

②一時預かり事業(原則 午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分:有料)

3. 事業年度期間 平成 31 年 4 月 1 日から、平成 32 年 3 月 31 日まで

4. 入所児童数 平成 31 年 4 月 1 日現在 104 名

5. 開所時間 午前 7 時から午後 7 時(午後 6 時から 7 時までは有料)

6. 保育時間 午前 9 時から午後 5 時

7. 職員体制 合計 28 名

・施設長	1 名	
・主任保育士	1 名	13
・保育士	21 名 (常勤 12 名 短時間 9 名)	
・看護師	1 名 (短時間 1 名)	
・調理員	3 名 (常勤 3 名)	(内栄養士 2 名、調理員 1 名)
・保育補助	1 名 (短時間 1 名)	
・嘱託医師	細川小児科医院	
・嘱託歯科医師	横手歯科医院	
・非常勤講師	濱崎けい子 (読み聞かせ)	
	大屋省子 (わらべうた)	
	植田晃太郎 (和太鼓)	

8. 保育内容

- ① ケアワーク担当制保育を入職職員に伝えていく為、また深めていく為、職員全体が育児マニュアルを正しく理解し、しっかりと意識しながら、常に誰もが同じ状態で子どもと関われるようにする。
- ② 以上児クラスにおいては、たて割り保育の充実・展開を図れるよう、保育内容をさらに見直し計画的に進められるようにしていく。
園外保育をはじめ、年長児が行う活動を広げる。
たてわり保育の継承が出来るよう、課業・テーマ活動と記録を効率的に取っていき、たてわり職員だけでなく、職員全体で共有できるものにする。
- ③ 年長児の園外保育を始め、地域との交流での活動など、園外での活動を広げ、いろいろな経験をもとに、遊びや友だち、地域の方との関わりを深めていくと共に、公共でのマナーやルールを学ぶ。
- ④ 絵本の楽しさ、おもしろさを子どもたちに伝えられるよう、引き続き講師による“読み聞かせ”の時間や、月刊絵本での読み聞かせとともに、年齢や興味に応じた絵本の読み聞かせの充実をはかる。その為にも、図書を整えていく。
- ⑤ 子どもたちと家庭的な雰囲気の中で、落ち着きゆったりとした時間を大切にする事、また伝承遊びを楽しめるよう、引き続き講師による“わらべうた”の時間を中心に、わらべうたの充実を図る。
- ⑥ 食育についての関わりを深めていき、保育士と調理が連携を取りながら栽培やクッキング保育などを計画的に進めていく。

- ⑦ 年長児の園外保育を始め、地域との交流での活動など、園外での活動を広げ、
いろいろな経験をもとに、遊びや友だち、地域の方との関わりを深めていく。

長期的計画

・施設面

- ・建てかえを見通し、施設整備積み立てを行う。

・職員

- ・安定した雇用が出来るよう、努める。
そのためにも、働きやすい職場であるよう環境(働き方・時間等)を整える。
- ・職員の向上心や積極性を上げられるよう、キャリアパスを考えた職員教育に力を入れる。
- ・絵本、音楽等専門的に取り組める職員の育成を行う。

・保育

- ・自主性を育み、自ら考え行動できる子どもに育てる。
- ・同年齢だけでなく、広い範囲での仲間として異年齢の相手に対して優しくできる子どもに育てる。
- ・興味・関心を持って取り組むとともに、集中力や持続力をもつ子どもに育てる。
- ・地域の中での活動を広げる

中期的計画

・施設面

- ・建て替えを見通し、安全面・衛生面・快適性などを考慮しながら、修繕を行っていく。

・職員

- ・子育てがひと段落した短時間職員の常勤への移行をすすめ、安定した職員の雇用を進める。
- ・若い職員の、クラスチーフとしての資質の向上を図る。
- ・キャリアアップの研修についても、計画的に着実にを行い資質の向上を図る。

・保育

- ・育児担当制により、2歳から以上児への移行がスムーズにすすむようになる。
- ・たてわり保育の充実から、子どもたち自らが自分たちのしたい活動について考えられるようになる。
- ・異年齢児間で、遊びや活動の継承が出来ていく。

短期的計画

・施設面

- ・建て替えを見通し、耐用年数から考えて必要となる修繕や買い替えなどを行う。
- ・配管の点検・補修、ボイラーの点検・補修。

・職員

- ・常勤職員の雇用を進め、短時間職員の時間の延長を勧める。
- ・実習生を積極的に受け入れ、人柄などをしっかり見極めながら、雇用に繋げていけるようにしていく。
その為にも、職員一人ひとりの受け入れ態勢を意識付けしていく。
- ・保育士会以外での研修案内も随時知らせ、一人ひとりにあった必要な研修に積極的に参加出来るように勧める、資質の向上を図る。
- ・記録の取り方や行事の準備など、計画的に出来るよう見直しをしていく。
- ・自己評価等から、自分達の課題や出来ているところを見つけ、保育に対する意識の向上を図る。

・保育

- ・図書の整理・管理を行いながら、子どもたちの年齢や興味関心に応じた蔵書を増やしていき、絵本の貸し出しへと向けた準備を進める。
- ・食育の面では、栽培保育を積極的に行い、クッキング保育を計画的に行う。
- ・安全・衛生・リスクマネジメントへのマニュアルの整理や作成を行い、それぞれが熟知することによって、しっかりと意識を持って行動できるようにしていく。

平成31年度鯉田保育園年間行事予定表(案)

日付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	月 入園式	水 即位の日	土	月 プール開き	木	日	火	金	日	水	土	日
2	火	木 国民の休日	日	火	金	月	水	土	火	木	日	月
3	水	金 憲法記念日	月	水	土	火	木	日	水	金	月	火
4	木	土 みどりの日	火	木	日	水	金	月	木	土	火	水
5	金	日 こどもの日	水	金	月	土	日	火	金	土	水	木
6	土	月 振替休日	木	土	火	金	日	水	土	金	月	火
7	日		金	日	木	土	月	金	土	日	火	水
8	月	ふれあい	土	火	木	日	火	金	土	日	月	火
9	火		日	水	金	月	木	土	火	水	日	月
10	水		火	木	土	日	金	月	土	日	火	水
11	木		水	金	日	火	土	月	金	土	日	月
12	金	内科健診	木	土	山の日 振替休日	日	金	火	土	月	金	土
13	土		火	金	ふれあい お泊まり保育 ↓	木	土	水	金	日	月	火
14	日		水	土	海の日	金	月	木	土	火	水	木
15	月		木	日		土	火	金	日	水	土	日
16	火		金	月		日	木	土	月	金	火	水
17	水	歯科検診	土	火		月	金	日	火	土	月	火
18	木		日	水		火	土	月	金	日	火	水
19	金	林野防火 電話指導 保護者懇談会	月	木		水	金	火	土	月	金	土
20	土		火	金		日	土	月	金	日	火	水
21	日		水	土		月	金	火	土	月	金	土
22	月		木	日		火	土	月	金	日	火	水
23	火		金	月		水	金	火	土	月	金	土
24	水		土	火		木	土	月	金	日	火	水
25	木		日	水		金	月	土	火	水	日	月
26	金	運動会	火	土		日	金	月	土	火	水	木
27	土		水	日		月	土	火	金	日	月	火
28	日	昭和の日	木	火		火	土	月	金	日	火	水
29	月	即位の日	金	水		水	金	火	土	月	金	土
30	火	即位の日	土	木		木	土	月	金	日	火	水
31	水		日	金		金	月	土	火	水	日	月
備考	3月中旬お別れ会 生活発表会 日程調整中 芋掘り・やき芋会 10月下旬～11月上旬 内科健診予定 園科検診予定 原検査 予定 保育参加月間 鯉田まつり(さくら) 7月上旬 そんめん流し 芋苗 植え(5月下旬～6月上旬)											

* 毎月1回 誕生会・身体測定・避難訓練又は防災訓練

鯨田保育園 (H31.4.1-H32.3.31)

6

2019 年度 銀杏保育園事業計画書

1. 保育理念

社会福祉法人くすの樹会の法人理念に基づき、保育所としての使命を果たすことを目途に、私たちが関る子どもたちが社会の役に立つ人に育つことを願い、日々の保育に専念する。

2. 基本方針

社会福祉法人として当法人が目指し、課題としてきたものが制度として位置づけられたが、これは法人の方向性に沿って、私たちの現場である保育所が、施設の使命である「保育」と同時に、保育所という器とそこに揃っている人的資源を、身近な地域にどう活かしていくかが課題と考えられる。

そのためには、法人職員として欲しい人材の採用と育成、定着が最大の課題であるが、神奈川県保育士の平均勤続年数が 5.7 年という厳しい状況下で苦戦している。

- ① 法人職員として働き甲斐を持って働ける環境を構築する。
- ② 保育内容の充実と安定を図り、利用者が安心できる保育園作りをする。

3. 2019 年度重点項目

- ① 法人理念、保育理念の共通理解と、実施している日常保育を客観視し、保育内容を深める。
- ② 保育の方向性を一致させ、銀杏及び胡桃館の職員同士が協力関係を保ちやすくするために、定期的な職員会議を開催する。
- ③ 特に施設長、主任保育士、中堅保育士の意思疎通に重きを置き、法人の考え方を、短時間職員にまで浸透させることに努める。
- ④ 銀杏保育園・胡桃館共に第三者評価を受審するため、法人が目指す保育の基本を見直す。

3. 中期目標 (2018 年 4 月～2023 年 3 月)

- (1) 園内研修を通し、保育内容の充実をはかる。
- (2) 地域との交流を意識的に増やしながら、銀杏保育園や胡桃館でできる地域貢献を探る。胡桃館では、地域開放スペースを活用する。
- (3) 年間休日を 10 日間増やし、実質上の処遇改善を行い、職員の自己研鑽がしやすい環境を整える。→ 年間 105 日から 115 日
平成 31 年度は有給休暇 5 日を加え実質 120 日の年間休日とする。
(1)～(3)の状況の評価し、保育の質向上と、職員の資質向上に役立つ環境づくりを行なうために、組織内で働き方のルールを確立、周知する。
- (4) 他機関、他法人との連携を行ないながら、地域交流の充実を図る。

- ・ 中期目標は、年度ごとに修正を加えながら、3 年後に中間まとめを行なう。
- ・ 公益的取組みについては、模索しながら取り組む。

4. 長期目標

- ・ 管理職の育成を図り、施設経営の安定を図る。
- ・ 銀杏保育園については、建設後 10 年を目処に建物本体の点検を行い、必要に応じて修繕を行う。

5. 実施事業

銀杏保育園保育事業

銀杏保育園胡桃館保育事業

一時預かり事業

6. 事業年度

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日

6. 定員

銀杏保育園 定員 60 名

4 月 1 日現在	0 歳児 6 名	1 歳児 8 名	2 歳児 10 名
	3 歳児 12 名	4 歳児 12 名	5 歳児 11 名
	計 59 名		

銀杏保育園胡桃館 定員 44 名

4 月 1 日現在 1 歳児 7 名 2 歳児 7 名 3 歳児 10 名

4 歳児 10 名 5 歳児 10 名

計 44 名

総合計 103 名

7. 職員体制

配置基準	→	配置人数
施設長 1 名	→	1 名
主任保育士 1 名	→	1 名
保育士 常勤保育士		銀杏 ⁷ 9 名 + 準看護師 1 名
		胡桃 4 名
短時間保育士		銀杏 13 名
		胡桃 6 名 (合計 33 名)
調理員 常勤栄養士		3 名 + 出向 1 名(あじさい保育園より指導 6 月末迄)
短時間栄養士		1 名
短時間調理員		2 名 (合計 7 名)
その他 2 名	→	1 名 (銀杏用務) 1 名 (銀杏事務)

以 上

平成31年度(2019) 銀杏保育園 年間行事予定表

平成31年3月1日現時点での予定です。変更となる場合もありますので、ご留意ください。

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1月	入園式 (銀杏・胡桃)	水	即位の日	土	月	火	流しそうめん①	木	日	日	月	火	水	金	保青参加月間	日	月	水	元日	土	日	月	日
2火		木	国民の休日	日	火		流しそうめん②	金	月	月		水	木	土		月		木	休園	日		月	
3水		金	憲法記念日	月	水			土	火	火		木	金	日	文化の日	火	火	金	休園	月	月	火	ひなまつり会
4木		土	みどりの日	火	木			日	水	水		土	金	月	振替休日	水	木	土		火		水	
5金		日	こどもの日	水	金		平塚七夕祭り (年長児・合同)	月	木	木		土	日	火		木	金	月		木		木	
6土		月	振替休日	木	土			火	金	金		日	月	水		土	日	月		金		金	
7日		火		金	日			水	土	日		火	木	木	展覧会 (銀杏・胡桃)	金	土	火		土		土	
8月		水	内科健診(銀杏)	土	月			木	日	月		水	金	金		日	水	水		日		日	
9火		木	内科健診(胡桃)	日	火			金	月	プール納め		木	土	土		月	木	木		日		月	
10水		金	親子通足 ※合同 (銀杏・胡桃)	月	水			土	火	火		金	日	日		火	土	金		月		火	
11木		土		火	木			日	水	水		土	月	月		水	土	土		火		水	
12金		日		水	金		お泊り保育	月	木	木		土	日	火		木	日	月	成人の日	木		金	
13土	懇談会(銀杏)	月		木	土			火	金	金		日	月	水		金	もっちり(胡桃)	火		金		土	
14日		火		金	日			水	土	土		月	火	金	七五三参り	日	水	水		土		日	
15月		水		土	月		海の日	木	日	日		火	木	土	作品展(銀杏)	月	木	木		日		生活発表会(胡桃)	
16火		木		日	火			金	月	敬老の日		水	土	日		月	金	金		日		月	
17水		金		月	水			土	火	火		木	金	日		火	土	土		月		火	
18木		土		火	木			日	水	水		土	月	月		水	土	土		火		水	
19金		日		水	金			月	木	木		土	日	火		木	日	日		水		木	
20土	懇談会(胡桃)	月		木	土			火	金	金		日	月	水		金	月	月		木		金	春分の日
21日		火		金	日			水	土	土		月	火	木		土	もっちり(銀杏)	火		金		土	卒園式(銀杏)
22月		水		土	月			木	日	日		火	土	金		日	水	水		土		日	
23火		木	梅もぎ取り ※両園年長児	日	火			金	月	秋分の日		水	土	土	勤労感謝の日	月	木	木		日		月	
24水		金		月	水			土	火	火		木	日	日		火	金	金		月		火	
25木		土		火	木			日	水	水		土	月	月		水	クリスマス会	土		火		水	
26金	こいのぼり会	日		水	金			月	木	木		土	日	火		木	日	日		水		木	
27土		月		木	土			火	金	金		日	月	水		金	月	月		木		金	
28日		火		金	日			水	土	土		月	火	木		土	火	火		金		土	卒園式(胡桃)
29月	昭和の日	水		土	月			木	日	日		火	土	金		日	水	水		土		日	
30火	退位の日	木		日	火			金	月	月		土	日	土	作品展(胡桃)	月	休園	木				月	
31		金			水			土		夏祭り(胡桃)		木	ハロウィンパーティー	土		火	休園	金	節分豆まき			火	

平成31年度 銀杏保育園 銀杏保育園胡桃館 職員研修計画表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園									
日付	園内研修			食育研修			県内		
	研修名	参加 対象	研修内容	研修名	参加 人数	研修内容	研修名	参加 人数	研修内容
4月	園内研修	全職員	新年度引き継ぎなど				幼児小接続研修		小学校見学・講演会
	育児担当研修	全職員	担当制保育の基本編						
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法						
5月	育児担当研修	全職員	乳児・異年齢の保育	衛生管理講習会		食中毒対応	第三者評価研修		保育の見直しと質の向上
6月	育児担当研修	全職員	担当制保育の基本、見直し				幼児教育研修		幼児保育の基礎・発達・理念
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法	給食施設栄養管理研修		給食を通しての栄養管理	キャリアアップ研修 マネジメント		キャリアアップ研修
7月	園内研修	リーダー	保育の見直し				幼児小接続研修 マネジメント		地域幼保小の交流
	育児担当研修	全職員	乳児・異年齢の保育				キャリアアップ研修 マネジメント		キャリアアップ研修
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法				キャリアアップ研修 幼児		キャリアアップ研修
8月	育児担当研修	リーダー	玩具リスト作り				戸塚療育センター見学		療育センターとの連携
	園内研修	保育士	保育マニュアル見直し				キャリアアップ研修 幼児		キャリアアップ研修
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法				キャリアアップ研修 障害児		キャリアアップ研修
9月	園内研修	全職員	前期自己評価				異年齢保育研修会		異年齢保育の質の向上
	読み聞かせ	全職員	読み聞かせ実践				キャリアアップ研修 マネジメント		キャリアアップ研修
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法				キャリアアップ研修 食育アレレギー		キャリアアップ研修
10月	育児担当研修	全職員	乳児・異年齢の保育	幼児食調理実習研修会		幼児食の調理実習	障害児保育実地研修		療育施設と施設との連携、相互理解
	読み聞かせ	希望者	読み聞かせ実践				障害児保育を考える		障害児保育の考え方、保育に生かす
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法						
							保育園医師会研修会		保育園管理下における事故予防
							異年齢保育研修会		異年齢保育の質の向上
11月	園内研修	リーダー	保育の見直し	給食施設栄養管理研修会		給食の役割と健康管理	幼児小連携		幼児小連携会議
	育児担当研修	全職員	乳児・異年齢の保育				キャリアアップ研修 マネジメント		キャリアアップ研修
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法				キャリアアップ研修 幼児		キャリアアップ研修
12月	読み聞かせ研修	全職員	読み聞かせ実践	調理技術及び食育向上					
	新保育所指針勉強会	希望者	新指針の勉強会				戸塚療育センター見学		療育センターとの連携
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法				保育福祉部会保育研究会		研究部会
							小児医療研修		
							幼児小連携フォーラム		実践発表、ポスターセッション(実践)
							新保育所保育指針研修会		新保育所保育指針の理解
							私立保育園連盟研修会		子どもの病氣と感染症
1月	園内研修	全職員	感染症対策				キャリアアップ研修 幼児		キャリアアップ研修
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法				保育福祉部会保育研究会		研究部会
	育児担当研修	保育士	乳児・異年齢の保育				キャリアアップ研修 マネジメント		キャリアアップ研修
	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法	食育計画作成について		食育計画作成について			
2月				乳児食講習会		離乳食の進め方と現状	環境講演会		体験発表、講演
							保育福祉部会保育研究会		研究部会
							保育福祉部会保育研究会		研究部会
3月	お話し会	保育士	わらべ歌、語り技法				キャリアアップ研修 マネジメント		キャリアアップ研修
	園内研修	全職員	後期自己評価、次年度に向けて				グループ、他地域交流、実践発表会		
	育児担当研修	全職員	公開保育、保育について						

※わらべうた、絵本読み聞かせ 自己研鑽による自主研修も積極的に参加